



2023年1月6日

各 位

会 社 名 株式会社ヨンドシーホールディングス
代 表 者 代表取締役社長 増 田 英 紀
(コード番号 8008 東証プライム市場)
問 合 せ 先 常務取締役常務執行役員財務担当
西 村 政 彦
(TEL. 03-5719-3429)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年10月7日に公表した2023年2月期(2022年3月1日～2023年2月28日)の通期連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年2月期通期連結業績予想の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 40,500	百万円 2,700	百万円 3,000	百万円 1,800	円 銭 83.96
今回修正予想(B)	40,000	2,000	2,350	1,100	51.30
増減額(B-A)	△500	△700	△650	△700	
増減率(%)	△1.2	△25.9	△21.7	△38.9	
(ご参考)前期実績 (2022年2月期)	38,123	1,788	2,293	1,490	69.56

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前期実績については当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 修正の理由

2022年10月7日に公表しました2023年2月期通期連結業績予想に対する進捗において、ジュエリー事業、アパレル事業ともに営業利益段階では増収増益となるものの、計画を下回る見通しとなりました。当第3四半期連結累計期間において、ジュエリー事業では、ファッションジュエリーは女性客拡大に向けた各種施策が奏功し、前年を上回って推移しましたが、ブライダルジュエリーの業績回復の遅れをカバーしきれませんでした。また、ジュエリー事業の最大需要期であるクリスマス商戦の売上高が計画を下回る結果となりました。

このほか、当第4四半期会計期間において、ブライダル専門店の一部店舗及び保有不動産等の減損損失約4億円を織り込み、通期で約5億円を計上する見込みです。

この状況を踏まえ、通期連結業績につきまして、前回発表時の予想を上記のとおり修正いたします。

なお、ジュエリー事業においては「選択と集中」による構造改革を断行します。ブライダル専門店において、店舗集約と都市型店舗の旗艦店化に向けた大型改装を計画いたします。

今期の1株当たり年間配当金につきましては、一部店舗及び保有不動産の減損損失計上等がいずれも一時的なものであることから年間83円を変更せず実施する予定であります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上